

東海市地域公共交通計画

Tokai City Regional Public Transportation Plan

令和6年(2024年)3月

概要版



東海市

(1) 東海市地域公共交通計画策定の背景と目的

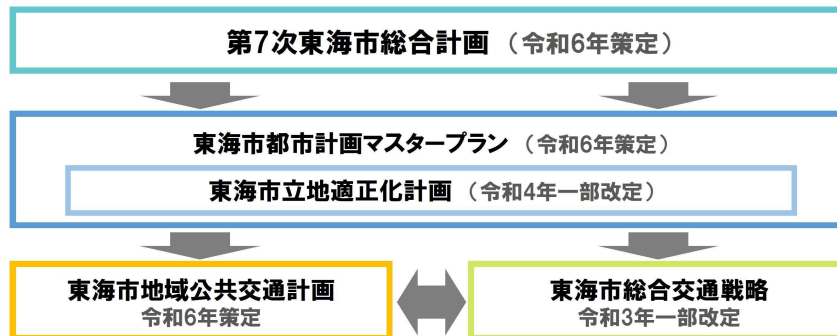
近年、人口減少や少子高齢化の進行等の社会問題が深刻化している中で、それらの社会変化は交通分野にも様々な影響を及ぼしています。公共交通においては、人口減少等に伴う需要の縮小や物価・人件費等の高騰による経営の悪化、また、運転手不足等による路線の維持・確保が厳しい状況にあり、これらに対応するための施策や取り組みが求められています。

令和5年度に、本市の地域公共交通に関する計画である「東海市地域公共交通網基本構想・形成計画」の計画期間が満了を迎えるにあたり、将来にわたる持続可能な公共交通網の実現のため、まちづくりと調和した公共交通ネットワークの構築を目指し、新たな「東海市地域公共交通計画」を策定します。

(2) 計画の位置づけ

「東海市地域公共交通計画」は、上位計画である「第7次東海市総合計画」のめざすまちの姿や、関連計画である「東海市都市計画マスタープラン」、「東海市立地適正化計画」、「東海市総合交通戦略」における施策や整備方針等を踏まえ整合を図るものとします。

図：東海市地域公共交通計画の位置づけ



(3) 計画期間

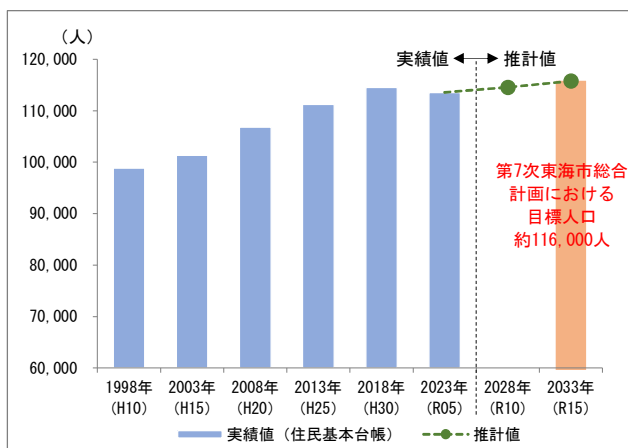
本計画の計画期間は、2024年度（令和6年度）から2028年度（令和10年度）までの5年間とします。

(4) 東海市の地域特性及び公共交通の現状

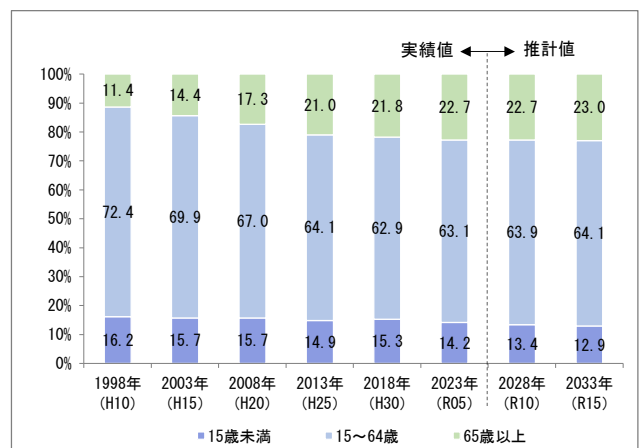
① 人口推移

東海市の人口は今後増加することが見込まれており、高齢化率も上昇する見通しとなっています。

図：人口の推移



図：年齢階層別内訳の推移

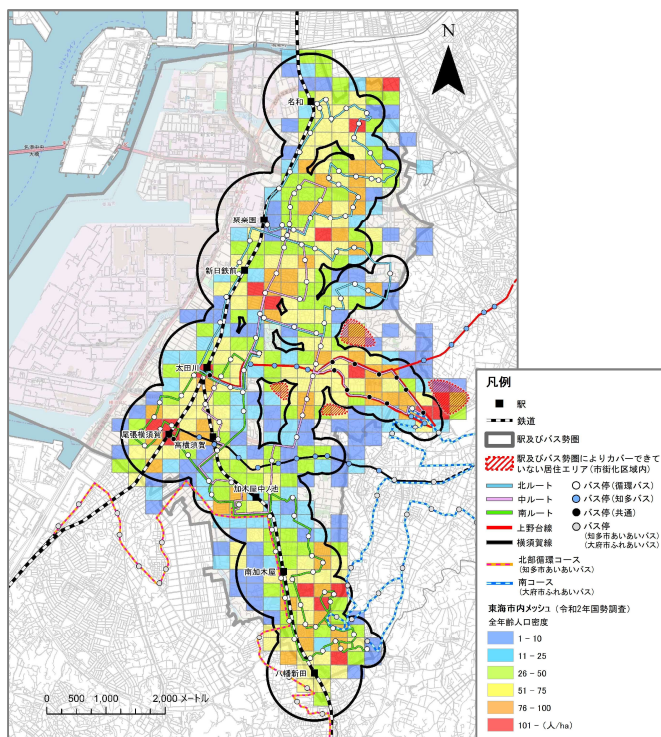


資料：東海市住民基本台帳、住民基本台帳による将来人口推計結果

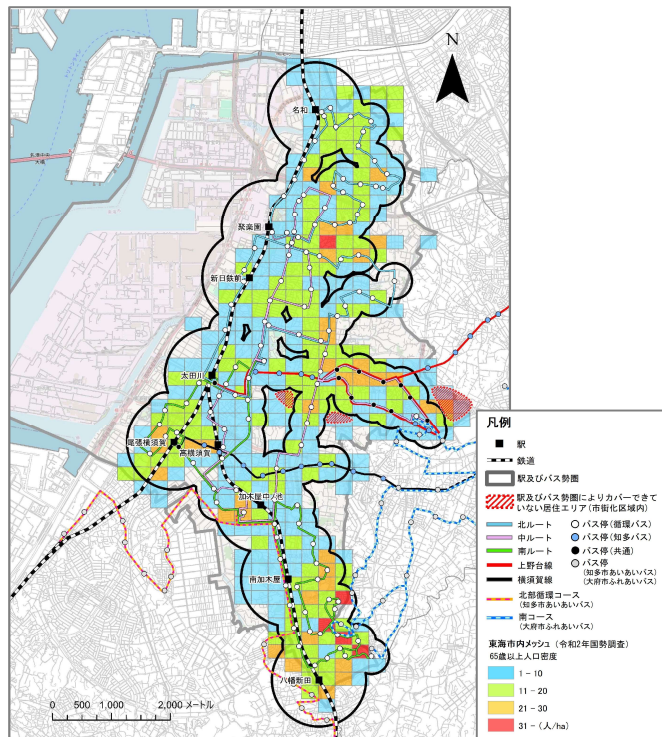
② 人口密度と公共交通のカバー圏域

東海市の人口は鉄道駅周辺や路線バス沿線、主要道路沿線において人口密度が高くなっており、市内の駅及びバス勢圏により、全年齢人口は88.1%、65歳以上の高齢者は87%カバーされています。また、太田川駅の南東部や明倫、船島、富木島などの一部地区においてカバーできていない居住エリアが点在しています。

図：東海市内全年齢人口の分布と公共交通カバー圏域



図：東海市内65歳以上人口の分布と公共交通カバー圏域

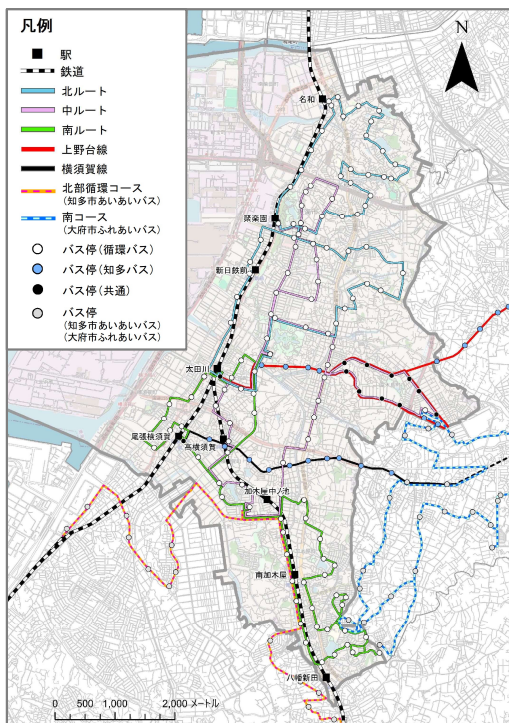


※駅及びバス勢圏は、前計画よりそれぞれ徒歩圏として駅を中心とした半径800m、バス停を中心とした半径300mとしている

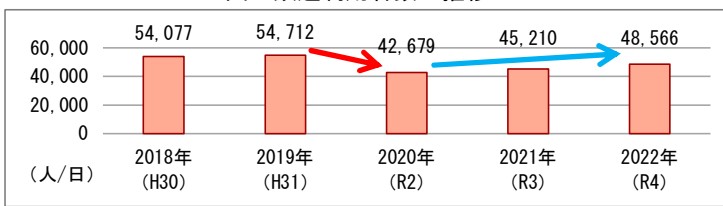
③ 市内公共交通の整理

市内公共交通の利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により2020年度(令和2年度)に大きく減少しましたが、鉄道は2021年度(令和3年度)、路線バスと循環バスは2022年度(令和4年度)から増加に転じています。

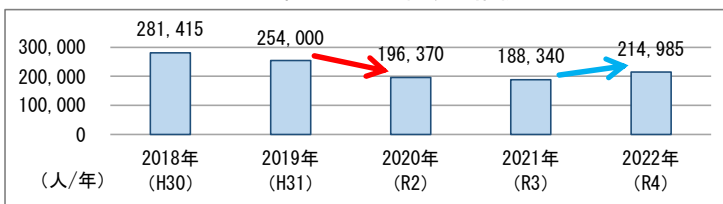
図：東海市公共交通網



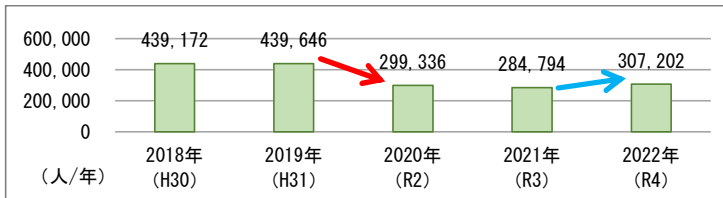
図：鉄道利用者数の推移



図：路線バス利用者数の推移



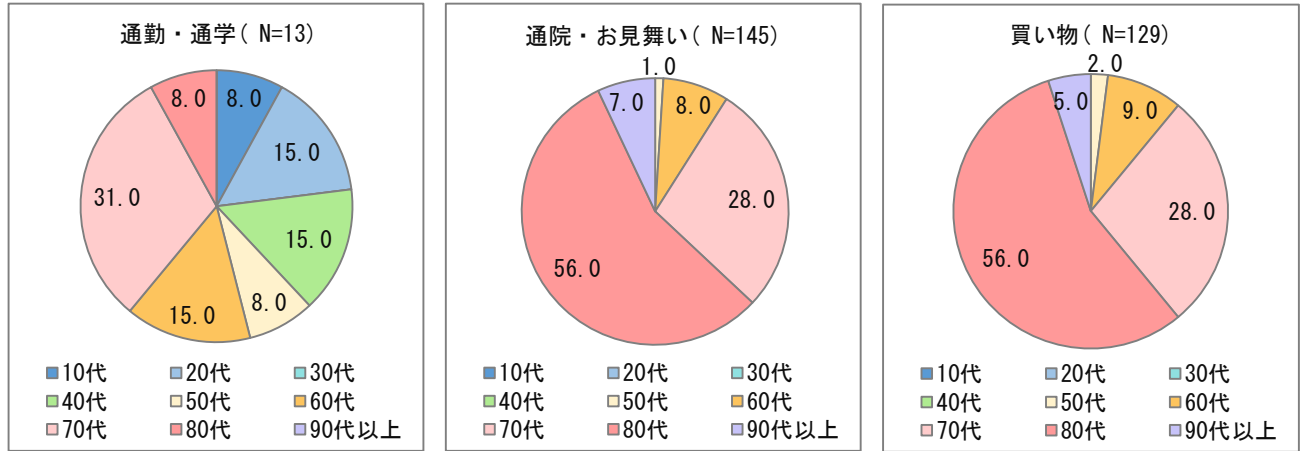
図：循環バス利用者数の推移



④ 各種アンケート調査結果

日常の移動において市内のバスを利用する方の年齢構成は、「通勤・通学」が10～60代が半数、「通院・お見舞い」「買い物」では70代以上が約9割を占めており、高齢者の利用割合が高いことがわかります。

図：日常移動でバスを利用する方の目的別・年齢構成

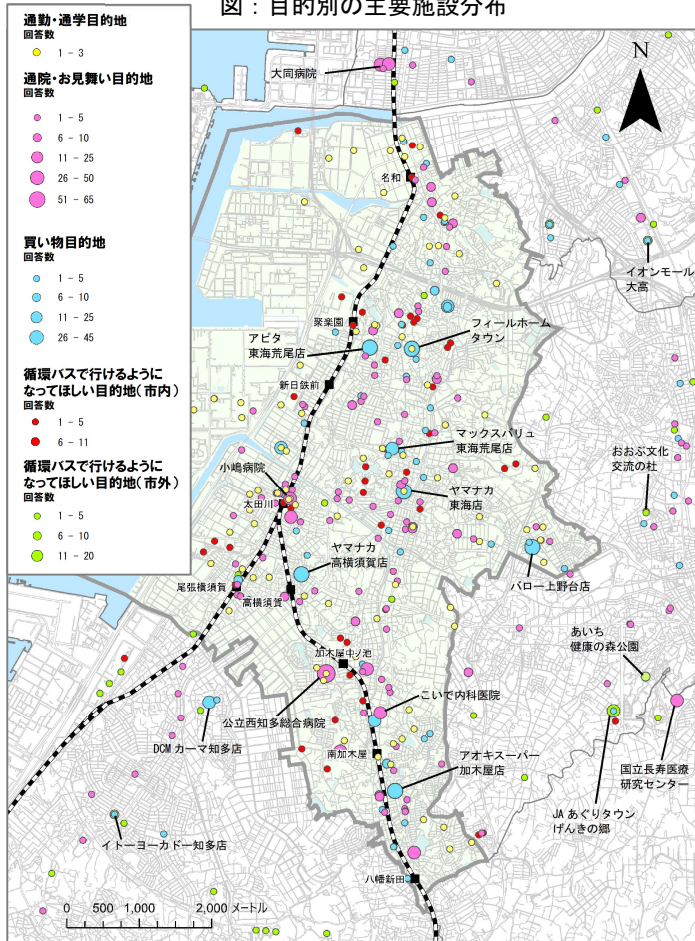


日常生活で行く通院・買い物先は、市内の主要病院・主要店舗が目立ち、回答数が少ないものを含めると、駅周辺や鉄道沿線及び市東部エリア全体に点在しています。

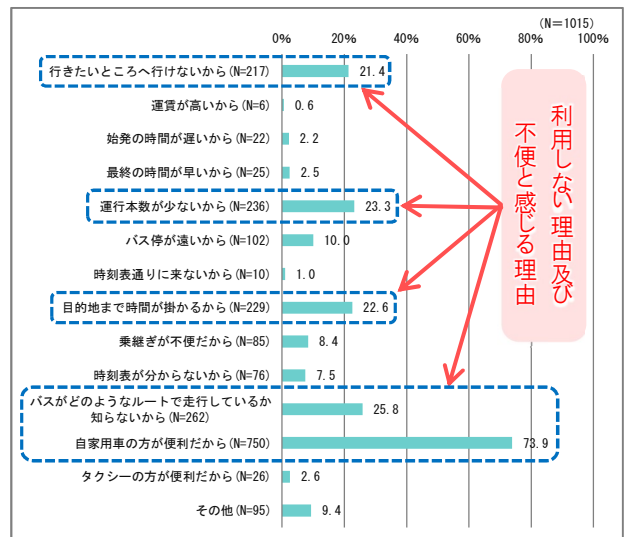
循環バスで行けるようになってほしい目的地は、市の中心部や鉄道駅周辺が目立ち、市外では大府市や知多市の施設が挙げられています。

市内バスを利用したことのない方の利用しない理由及び不便と感じる理由は、「自家用車の方が便利だから」という回答が最も多く、市内バスを利用したことのある方の回答では「運行本数が少ないから」が最も多くなっており、次いで「目的地まで時間が掛かるから」「自家用車の方が便利だから」となっています。

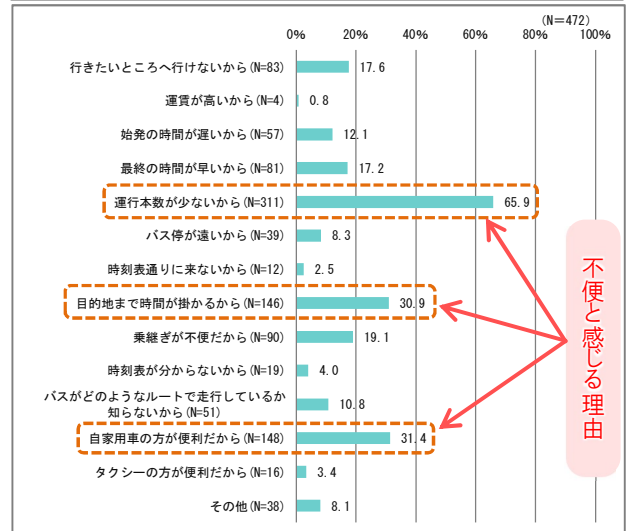
図：目的別の主要施設分布



【バスを利用したことのない方の回答】

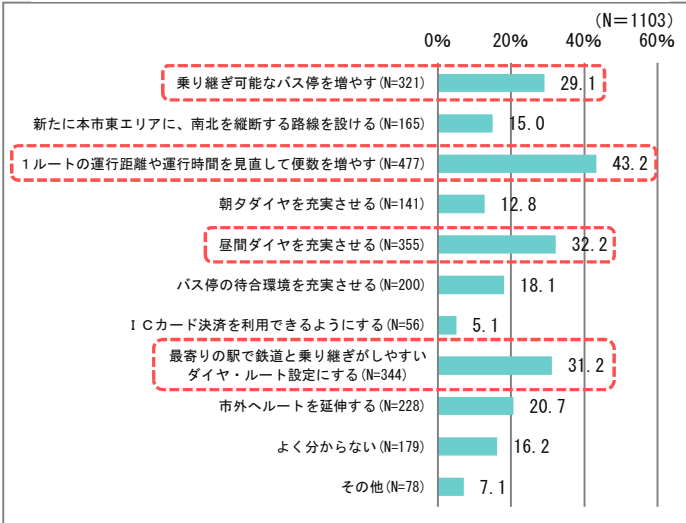


【バスを利用したことのある方の回答】



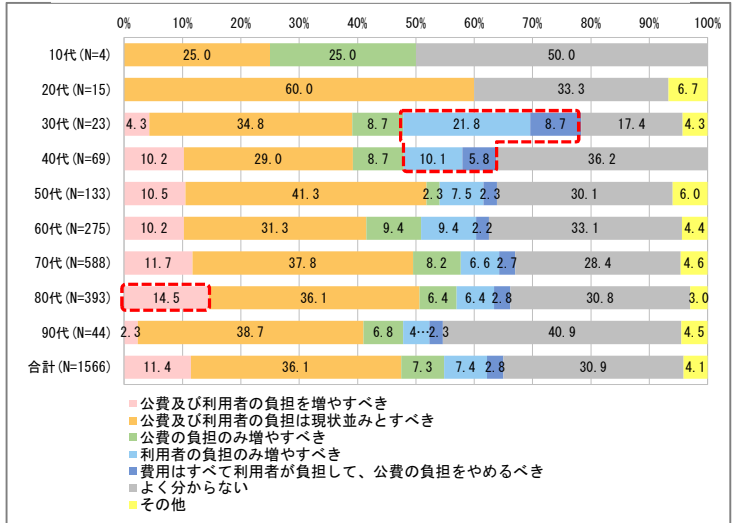
今後バスを利用しやすくするために必要と思われる利用促進策に関しては、下図に赤で囲んでいる4つの項目について回答が多くなっています。

図：バスの利用促進策



循環バスの運行に係る公費負担については、ほとんどの年齢層の方が、「公費及び利用者の負担は現状並みとすべき」との回答割合が高くなっています。

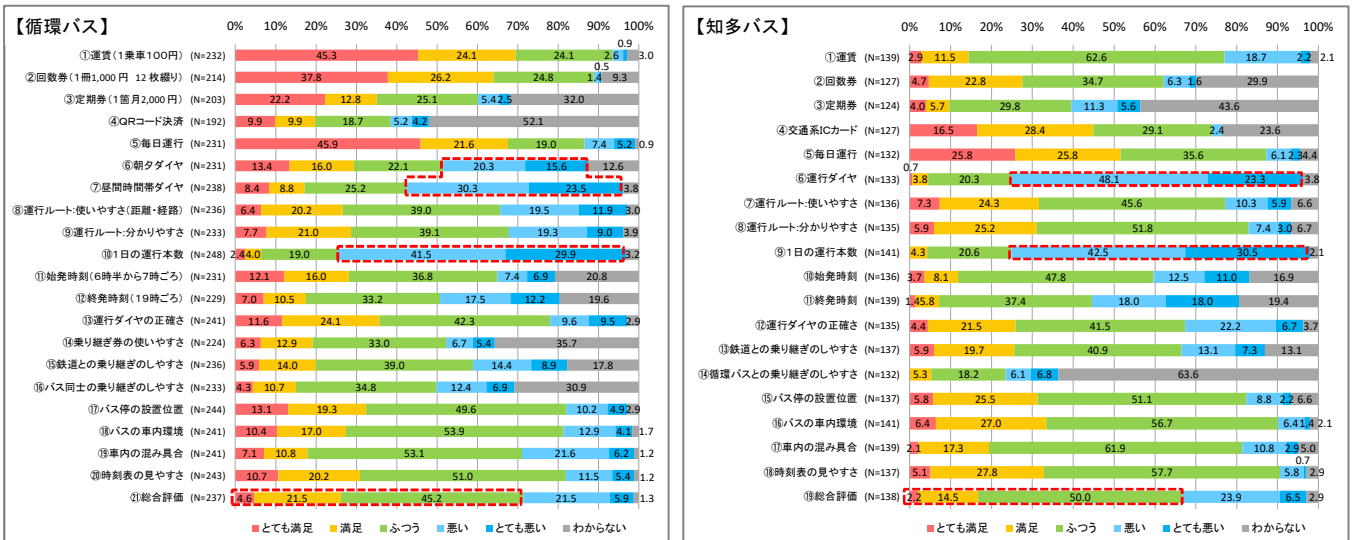
図：サービス向上のための公費負担について



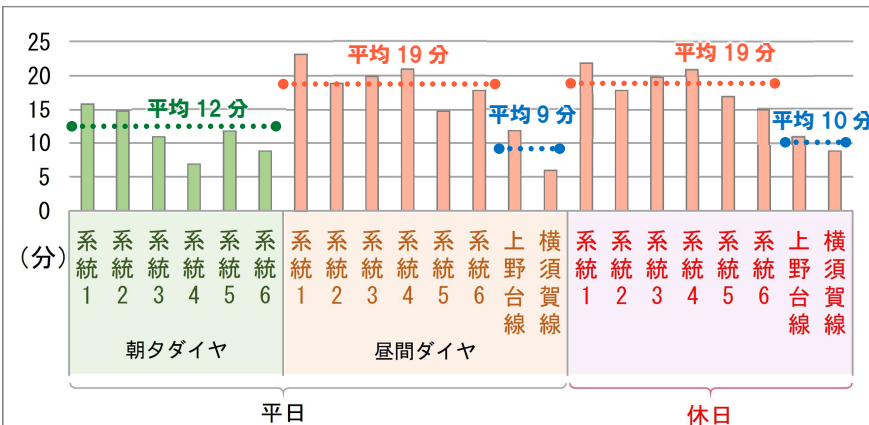
総合評価におけるバスの満足度は、「循環バス」、「知多バス」とともに「とても満足」「満足」「ふつう」を合わせた回答割合が7割近くを占めています。

項目別に見ると、「循環バス」においては朝夕ダイヤと昼間時間帯のダイヤ、運行本数について、「知多バス」においては運行ダイヤと運行本数について、満足度が低くなっています。

図：バスの満足度



図：乗車バス停から降車バス停までの平均所要時間



乗車バス停から降車バス停までの平均所要時間をみると、知多バス2路線に比べて循環バスの朝夕ダイヤは約3分、昼間ダイヤは約10分長い傾向にあります。

(5) 地域公共交通の課題と基本方針



(6) 基本方針ごとの目標指標

目標指標		現況値 2022年度(R4)	目標値 2028年度(R10)
基本方針1	【指標1】 主要公共交通の年間利用者数	18,248,777人/年	20,581,000人/年
	市内鉄道駅の乗降者数	17,726,590人/年	19,970,000人/年
	市内を運行する路線バスの利用者数	214,985人/年	233,000人/年
	循環バス（らんらんバス）の利用者数	307,202人/年	378,000人/年
	【指標2】 市内・市外への移動が円滑にできる環境が整っていると思う人の割合	68.7%	73.4%
基本方針2	【指標3】 循環バス（らんらんバス）利用者1人当たりの市負担額	445.6円/人	現況値以下
	【指標4】 待合環境が整備されたバス停数	10箇所 2023年度(R5)	13箇所
基本方針3	【指標5】 新たな交通システムの導入件数	未実施 2023年度(R5)	現況値以上
	【指標6】 買い物バスの利用者数	5.8人/回	現況値以上
	【指標7】 バスの乗り方教室や出前講座の参加人数	303人/年	393人/年
基本方針4	【指標8】 バスロケーションシステムのアクセス数	約324,000件/年	408,000件/年
	【指標9】 駅や主要公共施設等へのデジタルサイネージ導入箇所数	1箇所 2023年度(R5)	3箇所
基本方針4	【指標10】 循環バス（らんらんバス）の近隣市町への乗り入れ路線数	未実施 2023年度(R5)	1路線
	【指標11】 近隣市町への乗り継ぎが可能なバス停数	15箇所 2023年度(R5)	17箇所

(7) 目標を達成するために行う事業と実施スケジュール

本計画の計画期間内において、各事業を協議・検討の上、関係機関と連携し各事業を進めていきます。各事業の期間は、**短期間**（1～3年程度）、**中期間**（4～5年程度）、**長期間**（10年程度）に分類し、下表のとおり実施スケジュールを設定しました。

事業期間が長期である事業や、継続的に実施する事業については、本計画期間以降も継続して検討を進めます。

表：事業実施スケジュール

	事業内容	実施主体	事業期間	実施スケジュール				
				R6	R7	R8	R9	R10
基本方針1	公共交通ネットワークの充実	東海市 交通事業者	中期間	→				
	医療・福祉拠点への移動支援の充実	東海市 交通事業者	中期間	→ 道路整備等他事業と併せて実施				
	待合環境等の整備	東海市 交通事業者	長期間	→ 民間事業者とも協議を行い実施を検討				
	駅前広場等の整備	東海市 交通事業者	長期間	→ 道路整備等他事業と併せて実施				
基本方針2	移動需要に応じた交通サービスの利用促進	東海市 交通事業者	長期間	→				
	輸送資源を活用した生活支援	社会福祉団体 小売事業者 物流事業者	長期間	→				
	新たな交通システム導入の検討	東海市 交通事業者 情報通信事業者	中期間	→ 需要分析に応じて、継続的な実施判断 <small>※デマンド交通実証実験及び検証</small>				
	パーソナルモビリティ等の調査・研究	東海市 モビリティサービス 事業者	長期間	→ 先進事例等の調査・研究				
基本方針3	公共交通教育及び利用促進活動の推進	東海市	長期間	→				
	バスロケーションシステムの充実	東海市 近隣市町 交通事業者 情報通信事業者	短期間	→				
	公共交通のわかりやすい情報提供の在り方についての調査・検討	東海市 交通事業者	短期間	→				
基本方針4	近隣市町コミュニティバスとの共通バス停の整備	東海市 近隣市町	短期間	→ 需要分析に応じて、拡充検討				
	利便性の高い地域公共交通の実現	東海市 近隣市町	長期間	→ 運用事例等の調査・研究				

→ 検討・協議 → 実施・整備 → 継続的に実施

(8) 計画の評価・検証の進め方

本計画の推進にあたっては、PDCAサイクルに基づき、計画の立案・目標を設定（Plan）し、それに基づき事業を実施（Do）します。実施した事業の結果から設定した目標の達成状況を評価（Check）し、評価結果を踏まえ必要に応じて改善に向け見直し（Action）を行います。



東海市 総務部 交通防犯課

〒476-8601

愛知県東海市中央町一丁目1番地

TEL : 052-603-2211 FAX : 052-603-8803

E-mail : koutsuu@city.tokai.lg.jp